

提供会員 60 人 依頼会員 159 人 両方会員 3 人 合計 222 人 活動件数 779 件 2023 年 11 月末現在

◎12月29日(金)から1月3日(水)まで事務所はお休みです。(緊急の連絡は携帯電話に転送されます)

### ニュースをメールで受け取り希望の方へ

件名に会員番号とフルネーム、本文に「ニュースをメールで受け取り希望」と入れていただき、配信希望のアドレスから kodomo21@zb.ztv.ne.jp に送信をお願いします。

## ♥ 交流会「防災まちあるき」 11/12(日) 10:00~12:00 シティプラサ2階A室



### ～まちあるきをしながら危険個所の確認～ 自分の防災マップを作る

#### 交流会に参加して

今回は、地震のときに気をつけたい箇所を探し、共有するために写真を撮りながら明倫地区を歩きました。

歩くことで、耐震がしてある建物や塀をフェンスに替えてある場所、震災用井戸のある家など安心できる場所を知ることができましたし、狭い道路にたくさんの電信柱や高いブロック塀、2階の屋根に設置してあるエアコンの室外機など危険を感じる場所もたくさん発見しました。

また、参加者で地図を見ながらお互いに発見した事の確認をして、自分では気づかなかった所を共有できたのも良かったです。

今回参加した事で、住んでいる地域の消火器の場所や内水氾濫箇所、もしもの時はどの道を通って避難場所に逃げるのかなど、普段、車で通り抜けるだけでは感じられない事に目を向け、歩いてみようよと思いました。

また、子どもの発表を聞いて、大人と子どもの視線の違いも知ることができました。

当日参加できなかった方も、センターからの交流会のお知らせを機会に、自分事として町を歩いてみるきっかけになればいいなと思います。

提供会員 C.K



日頃からの備えの大切さが分かった 中津嘉文 5年



防災について歩いて調べるのが楽しかった 中津和佳奈 3年



歩いたり、見つけるのが楽しかった 中津葉奈 5歳



私はコミュニティソーシャルワーカーとして、社会福祉協議会に勤めており、地域の防災についての講座なども企画運営させてもらっています。

2年前のファミリーサポートセンター交流会の防災食作りに参加させていただいたのをきっかけに昨年度、約半年間三重大学に通いながらみえ防災コーディネーターと防災士の資格を取得しました。働きながら、また子育てをしながらの通学、勉強は大変でしたが、子育て支援制度をフル活用し、家族に支えてもらいながら日々頑張りました。



今回、家族で防災についての意識の共有をしたいと思い、参加させていただきました。新たな視点でまちの危険箇所を見て、発見もたくさんありました。

講師の中川先生のアドバイスの中で、「災害が起こった時に危険な箇所だけ見つけるのではなく、実際に現在できている防災対策も見つけてみてください」という視点が心に残りました。

できていない部分だけに注目するのではなく、今できている防災対策を改めて発見し、前向きにこれからの備えを考えるヒントをいただきました。

また、今回一緒に参加した子ども達の間にも感じました。大人が気づかなかった、災害時避難所の鍵のボックスや、AEDの設置場所（5歳の次女がAEDの存在を知っていた事も驚きました）、災害用井戸など…発見した子ども達は誇らしげでした。子ども達のエンパワメントを引き出していただいたスタッフの皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

中津嘉美

## ♥ 研修会報告



「思春期外来」に参加して 11月25日 於：伊勢市民活動センター

講師 医療法人南風会万葉クリニック子どものこころセンター絆センター長 飯田順三先生

「子どもの心の発達」特に早期母子関係についての話が心に残りました。生後6カ月くらいまでに、母親＝欲求を満たしてくれる対象として意識するようになります。おむつ交換、授乳、抱っこ、沐浴等々、赤ちゃんが気持ち良いと感じるようなお世話をしてくれる人ということでしょう。

愛情を注がれて育った赤ちゃんは、10カ月頃にはすでに基本的信頼感が生まれるとお聴きして、その心の発達の早さに驚きました。16カ月頃までに、よちよち歩きが出来るようになりますが、周りに興味を示しながらも不安がいつぱいの時期です。沢山褒められる経験を通して、母親の傍から少し離れたり、また戻ったりの行動がみられます。

この頃に安定した、安心のできる母子関係が出来ていると、子どもの心の内に自分を支えてくれる母親像がしっかりと持て、母親離れが出来るのだそうです。

もうひとつは、「間主観性」という聞き慣れない言葉ですが、母親と赤ちゃんの関係において大切

な話を聴くことが出来ました。

『乳児は早期から親が自分に興味を向けているかどうかを敏感に察知する能力を持っておりこの相手の感じている世界を察知することを間主観性という』との説明がありました。

思えば、離乳期の子どもと母親のやり取りでもこのようなことが見られます。

母親の「あーん」に合わせて赤ちゃんが口を開ける。「かみかみ」や「もぐもぐ」に合わせて口を動かす。「ごっくん」に合わせて飲み込む等、母親が乳幼児の気分うまく合わせて声掛けをしています。このような母子の響きあった反応は、乳幼児に生き生きとした活動をさせる原動力となるそうです。

早期母子関係の話は、母親の存在の大きさと大切さを再認識する機会でした。

私たちサポーターは、乳幼児に話しかけては笑顔を引き出したり、共有したり、たくさん褒めたり、またたしなめたりもします。身近な大人の適切な働きかけは、脳とこころの発達に深く関わり、その後の発達にも重要な意味を持つことを心に留めて、今後のサポートに活かしていきたいと思えます。

奥野

## ♥提供会員養成講座報告と次回告知



第1回提供会員養成講座は、度会郡・大台町ファミリー・サポート・センターとの協働で開催しました。南伊勢町役場といせ市民活動センターを会場に、オンラインで結んでの開催でした。初めての試みでハプニングもあり、参加者には聞き取りにくい場面もありましたが、無事終わることができました。

最終は12月2日伊勢会場での救命救急の実践講座と振り返りで、全講座受講された2名の方が登録されました。

次回は2月3日、4日、11日、17日、18日です。5年経過で再受講の方はご予約下さい。対象の方には個別にお知らせします。

日程	時間	講座内容／講師	会場
2／3 (土)	10:00～10:10	開校式・オリエンテーション	いせ市民活動センター 南館
	10:10～11:40	① 子育て支援サービスを提供するために：秋山	
	12:40～14:40	② 子どもの遊び：山野先生	
	14:50～16:20	③ 子どもの生活へのケアと援助：保健師	
2／4 (日)	10:00～12:00	④ 保育の心：堀川先生	いせ市民活動センター 北館A室
	13:00～16:00	⑤ 子どもの栄養と食生活：馬場先生	
2／11 (日)	9:30～12:30	⑥ 心の発達と保育者の関わり：山口先生	いせトピア研修室1・2
	13:30～16:30	⑦ 身体の発育と病気：羽根先生	
2／17 (土)	10:00～12:00	⑧ 小児看護	いせトピア学習室2・3
	13:00～16:00	⑨ 心肺蘇生：青木先生	
2／18 (日)	10:00～12:00	⑩ 児童虐待と社会的養護：鈴木先生	いせトピア研修室1・2 いせトピア学習室2・3
	13:00～15:00	⑪ 振り返りと事業説明：秋山	
	15:00～15:30	⑫ 会則・活動記録等の説明：アドバイザー	



## ♡いろいろお知らせ

●令和5年度伊勢市子ども家庭支援ネットワーク研修会を立命館大学名誉教授 野田正人氏を講師にお招きし、『児童虐待への対応 ～要対協の役割を中心に～』と題し、児童虐待と様々な問題行動の連鎖、要保護児童対策地域協議会の役割や関係機関との連携等について分かりやすく講演していただきました。講演内容をYouTubeにて限定公開しています。

配信期間：12月5日(火)～12月27日(水) 17時まで

下記URLまたは右QRコードから視聴してください。

(通信料が発生しますので、ネット環境をご確認ください。)

<https://youtu.be/VNnzTiZM0UY> 配信時間：1時間38分



●子ども支援者養成講座 web 配信中 <https://childhelplineie.net/online/>

リアル講座にはお越し頂けなかった方にも、好きな時間に好きな所で受講することができます。

知っているようで知らない子どものこと、もっと学んでみませんか。

ぜひこの機会にご受講ください。

配信期間：2024年3月31日まで 最終申込〆切：2024年3月20日(水祝)

※子どもにはチカラがある ～子どものエンパワメントを支えるおとなの役割～

子どもの権利条約総合研究所 関西事務所 所長 浜田 進士

※チャイルドラインとは

NPO 法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク 代表理事 田部 眞樹子

※思春期外来の現場から

奈良県立医科大学 名誉教授

医療法人南風会万葉クリニック子どものこころセンター絆センター長

飯田 順三



※いじめ・不登校

NPO 法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事 須永 祐慈

※チャイルドヘルプライン MIE ネットワークホームページ

.....  
♪子ども服のリサイクル交換コーナー(無料)常設中 (もらっていくだけでもOK!)  
♪毎月11日はイオンのイエローシートの日!! (イオン伊勢店、マックスバリュラパーク店の三重みなみ子どもネットワークのBOXにイエローシート入れて下さいね<\_m>)  
♪チョコレート・カテキン茶・乾燥あげ・こんにやく・野田あられも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります! ご入用の方はみんみんネット事務所までお問合せ下さい。  
なお、使用済みインクカートリッジ回収は終了しました!! 今までご協力いただいた皆さまありがとうございました。  
.....



随時発行

《発行》 いせファミリー・サポート・センター

〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク(みんみんネット)内

TEL: 0596-28-5692 FAX: 0596-28-5679

e-mail [kodomo21@zb.ztv.ne.jp](mailto:kodomo21@zb.ztv.ne.jp) / URL: <https://kodomo21.com/famisap>

